

I-4 日本人の旅行に対する意識

■ 行ってみたい旅行

行ってみたい旅行先(国内)は北海道、沖縄県、京都府
 行ってみたい旅行先(海外)は、
 ハワイ、アメリカ合衆国本土、イタリア
 行ってみたい旅行タイプは自然、温泉、グルメ

ここでは、日本人の行ってみたい旅行について詳しくみていく。なお、ここで分析に用いたデータは、全て「JTBF旅行意識調査」に基づいている。

(1) 行ってみたい旅行先(国内旅行・海外旅行)

「今後1~2年の間に行ってみたい国内旅行及び海外旅行の旅行先(国、都市、観光スポット)」について、具体的な地名を国内・海外それぞれ行きたい順に3つまで自由に回答してもらった(表I-4-1)。

表I-4-1 行ってみたい旅行先

国内旅行

順位	2020年		2017年	
	地域名	合計ポイント	地域名	合計ポイント
1位	北海道	1,705	北海道	1,591
2位	沖縄県	1,386	沖縄県	1,203
3位	京都府	511	京都府	547
4位	大阪府	315	東京都	354
5位	東京都	305	大阪府	283
6位	九州地方	264	九州地方	257
7位	千葉県	227	石川県	210
8位	石川県	203	千葉県	204
9位	鹿児島県	182	鹿児島県	194
10位	静岡県	181	長崎県	174
11位	長野県	170	東北地方	158
12位	福岡県	158	広島県	137
13位	東北地方	155	静岡県	129
14位	四国地方	146	長野県	123
15位	長崎県	143	四国地方	116
16位	広島県	135	三重県	114
17位	神奈川県	123	福岡県	112
18位	島根県	106	青森県	100
19位	大分県	95	神奈川県	92
20位	三重県	93	大分県	82
21位	群馬県	89	奈良県	79
22位	兵庫県	88	栃木県	78
23位	和歌山県	86	富山県	72
24位	青森県	81	兵庫県	71
25位	栃木県	66	島根県	70
25位	富山県	66	宮城県	63
27位	福島県	63	熊本県	60
28位	熊本県	54	岐阜県	56
29位	山形県	52	新潟県	49
30位	奈良県	51	群馬県	47

ただし、最も行きたい地域を3ポイント、2番目に行きたい地域を2ポイント、3番目に行きたい地域を1ポイントとして、その合計値をランキングにしている。

その結果、国内では北海道が最も高く、初回調査時(1988年)より連続して首位を維持している。次いで沖縄県、京都府、大阪府、東京都の順となり、沖縄県より下位には都市部が続いた。

2017年の結果と比較すると、上位10位までの都道府県の顔ぶれに大きな変更はなかったが、長崎県が順位を下げ、静岡県が順位を上げ入れ替わる形となった。静岡県の具体的な旅行先としては、伊豆や熱海、下田など様々なスポットの回答がみられた。また、最も順位を上げたのは、福島県(17年41位)であった。

海外では、ハワイが最も高く、続いてアメリカ合衆国本土、イタリアとなった。

海外旅行

順位	2020年		2017年	
	地域名	合計ポイント	地域名	合計ポイント
1位	ハワイ	1,208	ハワイ	1,071
2位	アメリカ合衆国本土	482	イタリア	448
3位	イタリア	445	アメリカ合衆国本土	426
4位	オーストラリア	342	フランス	343
5位	フランス	326	オーストラリア	317
6位	台湾	292	グアム	289
7位	グアム	271	台湾	274
8位	韓国	252	カナダ	225
9位	イギリス	214	イギリス	180
10位	スイス	210	スイス	176
11位	カナダ	197	スペイン	156
12位	スペイン	177	韓国	147
12位	シンガポール	177	ヨーロッパ	132
14位	タイ	162	シンガポール	126
15位	ドイツ	149	ドイツ	117
16位	ヨーロッパ	79	バリ島	88
17位	ニュージーランド	77	ニュージーランド	85
18位	エジプト	75	タイ	77
19位	フィンランド	73	ベトナム	76
20位	バリ島	69	中国	59
21位	中国	66	エジプト	57
22位	ペルー	64	香港	51
23位	ベトナム	63	モルディブ	42
24位	北欧	46	カンボジア	38
25位	オーストリア	42	ペルー	38
26位	トルコ	38	フィンランド	33
26位	マレーシア	38	オーストリア	33
26位	モルディブ	38	ギリシャ	32
29位	ノルウェー	35	トルコ	32
30位	ギリシャ/スウェーデン	33	マレーシア	31

資料：(公財)日本交通公社「JTBF旅行意識調査」

(2) 行ってみたい旅行タイプ

「今後1~2年の間に行ってみたい国内旅行及び海外旅行の旅行タイプ」として当てはまるものを選択肢一覧表（表I-4-2）から全て選んでもらった結果、行ってみたい旅行タイプ（複数回答）は、「自然観光」（47.6%）、「温泉旅行」（46.9%）、「グルメ」（41.1%）、「歴史・文化観光」（37.2%）、の順となった（図I-4-1）。2017年の結果と比較すると、「自然観光」と「グルメ」が順位を上げる結果となった。

表I-4-3では、性・年代別にランキング形式で示している。前に述べたこれらの「行ってみたい旅行タイプ」上位4位について、「自然観光」「温泉旅行」「グルメ」は、どの年代においても男女にかかわらず高い。「歴史・文化観光」は、年代が上がるにつれて順位が高くなる傾向がみられる。

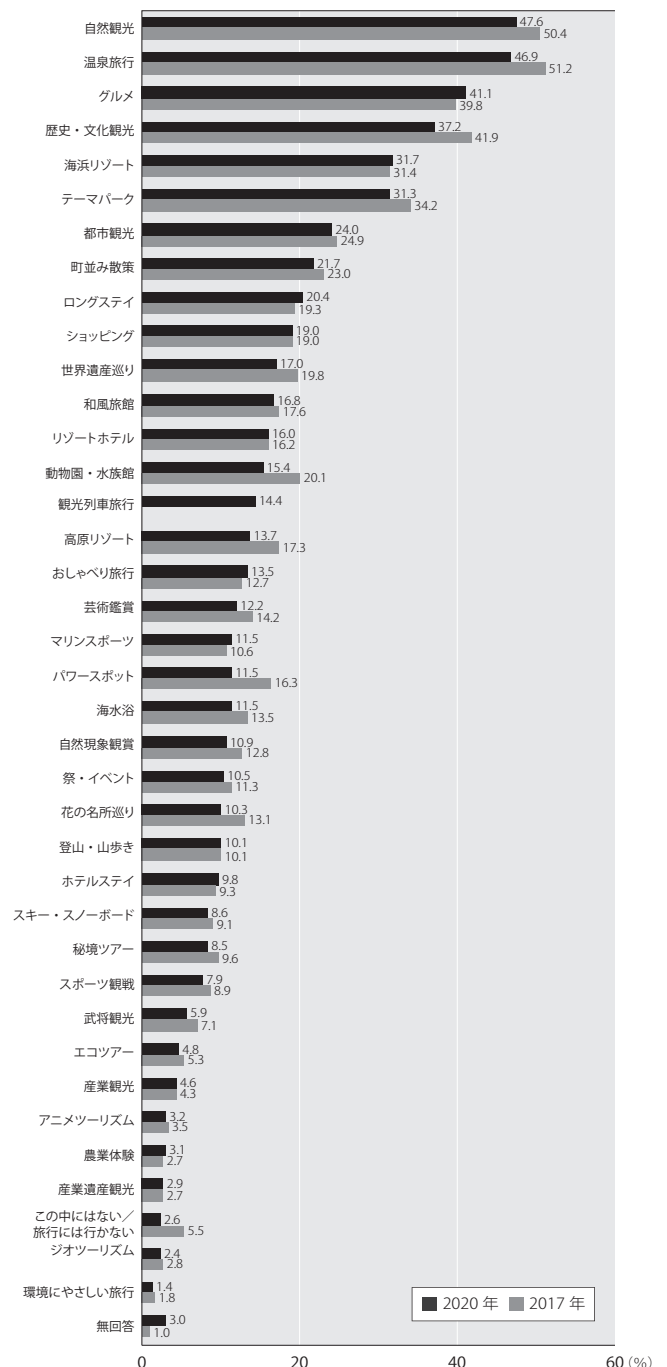
その他の旅行タイプでは、「テーマパーク」が、20代から40代で人気が高く、年代が上がるにつれて低下する傾向がある。

表I-4-2 行ってみたい旅行タイプ 選択肢一覧

順位	旅行タイプ名	内容
1	自然観光	自然や景勝地を見てまわる観光旅行
2	歴史・文化観光	歴史や文化的な名所を見てまわる観光旅行
3	海浜リゾート	海辺でゆったり過ごす旅行
4	高原リゾート	高原でゆったり過ごす旅行
5	都市観光	街や都市で楽しむ旅行
6	温泉旅行	温泉を楽しむ旅行
7	祭・イベント	祭やイベントを楽しむ旅行
8	テーマパーク	テーマパークや遊園地で楽しむ旅行
9	動物園・水族館	動物園や水族館で楽しむ旅行
10	グルメ	おいしいものを食べる旅行
11	スキー・スノーボード	スキーを楽しむ旅行
12	マリンスポーツ	マリンスポーツを楽しむ旅行
13	登山・山歩き	登山や山歩きを楽しむ旅行
14	海水浴	海水浴を楽しむ旅行
15	ショッピング	ショッピングを楽しむ旅行
16	芸術鑑賞	演劇、音楽、展覧会等を楽しむ旅行
17	スポーツ観戦	スポーツ観戦を楽しむ旅行
18	花の名所巡り	桜やハープなどの花の名所を訪ねる旅行
19	自然現象観賞	珍しい自然現象を見に行く旅行
20	秘境ツアー	秘境を訪ねる旅行
21	町並み散策	美しい町並みを楽しむ旅行
22	リゾートホテル	リゾートホテルに泊まる旅行
23	和風旅館	落ち着いた和風旅館に泊まる旅行
24	おしゃべり旅行	仲間や家族と楽しく過ごす旅行 (見るもの、遊ぶものにはこだわらない)
25	世界遺産巡り	世界遺産を巡る旅行
26	ロングステイ	ロングステイを楽しむ旅行
27	パワースポット	神秘的な力・エネルギーの宿場所を訪れる旅行
28	ホテルステイ	ホテルの旅館内での滞在そのものを主目的とした旅行
29	環境にやさしい旅行	旅行中に排出したCO ₂ を減らすための料金負担など、環境に配慮した旅行
30	エコツアー	自然を楽しみ、自然や環境を学ぶ旅行
31	農業体験	農山漁村などの環境やふるさと体験を楽しむ旅行
32	産業観光	工場見学やものづくり現場の見学・体験を楽しむ旅行
33	産業遺産観光	鉱山や紡績場などかつて栄えた産業跡を訪れる旅行
34	武将観光	戦国武将にまつわる名所・旧跡を訪れる旅行
35	ジオツーリズム	地質や地形など地球科学的な現象に対する理解を深める旅行
36	アニメツーリズム	アニメマンガに関連する場所や施設、イベントを楽しむ旅行
37	観光列車旅行	内外装を凝らし、味覚を楽しみながら旅行が出来るなど、乗ること自体を目的とした列車旅行
38	この中にはない／旅行には行かない	

資料：(公財)日本交通公社「JTBF旅行意識調査」

図I-4-1 行ってみたい旅行タイプ（複数回答）



資料：(公財)日本交通公社「JTBF旅行意識調査」

表I-4-3 性・年代別 行ってみたい旅行タイプ（複数回答）（単位：％）

男性20代

		2020年	2017年	
1位	自然観光	46.2	42.3	(1位)
2位	グルメ	39.6	33.3	(3位)
3位	温泉旅行	36.3	42.3	(1位)
4位	海浜リゾート	33.0	25.6	(7位)
5位	テーマパーク	27.5	32.1	(5位)
6位	歴史・文化観光	26.4	33.3	(3位)
	都市観光	26.4	30.8	(6位)
8位	海水浴	17.6	15.4	(14位)
	町並み散策	17.6	19.2	(9位)
10位	マリンスポーツ	16.5	10.3	(19位)

男性30代

		2020年	2017年	
1位	温泉旅行	46.0	53.9	(1位)
2位	自然観光	43.4	50.4	(2位)
3位	テーマパーク	40.7	41.7	(3位)
4位	グルメ	38.9	41.7	(3位)
5位	海浜リゾート	34.5	41.7	(3位)
6位	歴史・文化観光	31.9	34.8	(6位)
7位	都市観光	29.2	16.5	(11位)
8位	ロングステイ	21.2	16.5	(11位)
9位	マリンスポーツ	19.5	12.2	(19位)
10位	動物園・水族館	17.7	22.6	(8位)

男性40代

		2020年	2017年	
1位	テーマパーク	46.7	48.8	(2位)
2位	温泉旅行	44.7	49.6	(1位)
3位	自然観光	44.0	44.8	(3位)
4位	グルメ	43.3	30.4	(6位)
5位	歴史・文化観光	41.3	32.8	(5位)
6位	海浜リゾート	38.0	37.6	(4位)
7位	都市観光	26.7	29.6	(7位)
8位	ロングステイ	16.7	18.4	(10位)
9位	ショッピング	16.0	15.2	(13位)
10位	動物園・水族館	15.3	19.2	(9位)
	海水浴	15.3	21.6	(8位)
	リゾートホテル	15.3	11.2	(21位)

男性50代

		2020年	2017年	
1位	自然観光	47.5	47.5	(2位)
2位	温泉旅行	41.7	44.2	(3位)
3位	海浜リゾート	36.7	35.8	(4位)
	グルメ	36.7	35.8	(4位)
5位	歴史・文化観光	32.5	48.3	(1位)
6位	都市観光	30.0	25.0	(8位)
7位	ロングステイ	27.5	18.3	(11位)
8位	テーマパーク	19.2	29.2	(6位)
9位	ショッピング	18.3	15.0	(16位)
10位	高原リゾート	16.7	14.2	(17位)
	マリンスポーツ	16.7	7.5	(27位)
	町並み散策	16.7	15.8	(14位)

男性60代

		2020年	2017年	
1位	自然観光	51.1	58.3	(1位)
2位	温泉旅行	50.4	53.0	(2位)
3位	歴史・文化観光	48.9	42.6	(3位)
4位	グルメ	39.4	31.3	(4位)
5位	世界遺産巡り	23.4	12.2	(14位)
6位	海浜リゾート	21.9	21.7	(5位)
7位	町並み散策	19.7	20.0	(6位)
8位	観光列車旅行	19.0	調査なし	
9位	都市観光	18.2	18.3	(8位)
	和風旅館	18.2	15.7	(9位)

男性70代

		2020年	2017年	
1位	自然観光	57.0	48.0	(3位)
2位	歴史・文化観光	49.0	56.0	(1位)
3位	温泉旅行	48.0	55.0	(2位)
4位	グルメ	31.0	25.0	(4位)
5位	町並み散策	25.0	21.0	(5位)
6位	和風旅館	24.0	19.0	(6位)
7位	都市観光	20.0	14.0	(9位)
8位	世界遺産巡り	17.0	17.0	(7位)
	観光列車旅行	17.0	調査なし	
10位	海浜リゾート	14.0	10.0	(15位)
	高原リゾート	14.0	13.0	(10位)
	リゾートホテル	14.0	9.0	(19位)
	ロングステイ	14.0	6.0	(23位)

女性20代

		2020年	2017年	
1位	海浜リゾート	56.4	44.4	(5位)
2位	温泉旅行	55.1	51.1	(3位)
3位	テーマパーク	53.8	65.6	(1位)
4位	グルメ	48.7	52.2	(2位)
5位	自然観光	44.9	48.9	(4位)
6位	都市観光	43.6	33.3	(7位)
7位	ショッピング	41.0	21.1	(15位)
8位	動物園・水族館	32.1	32.2	(8位)
9位	リゾートホテル	30.8	21.1	(15位)
	ロングステイ	30.8	27.8	(9位)

女性30代

		2020年	2017年	
1位	テーマパーク	59.5	66.3	(1位)
2位	温泉旅行	58.6	53.7	(3位)
3位	グルメ	54.1	60.0	(2位)
4位	海浜リゾート	45.0	49.5	(4位)
5位	自然観光	34.2	38.9	(6位)
6位	ショッピング	30.6	35.8	(7位)
7位	歴史・文化観光	29.7	34.7	(8位)
	ロングステイ	29.7	30.5	(10位)
9位	動物園・水族館	28.8	41.1	(5位)
10位	海水浴	25.2	29.5	(11位)

女性40代

		2020年	2017年	
1位	テーマパーク	49.6	57.7	(1位)
2位	自然観光	45.7	51.2	(2位)
	海浜リゾート	45.7	42.3	(5位)
4位	グルメ	43.3	42.3	(5位)
5位	温泉旅行	41.7	46.3	(4位)
6位	歴史・文化観光	35.4	47.2	(3位)
7位	ロングステイ	23.6	22.0	(13位)
8位	都市観光	22.8	27.6	(7位)
	動物園・水族館	22.8	26.8	(9位)
	ショッピング	22.8	27.6	(7位)
	町並み散策	22.8	26.0	(11位)

女性50代

		2020年	2017年	
1位	自然観光	48.3	52.1	(2位)
2位	温泉旅行	45.7	55.4	(1位)
3位	グルメ	38.8	47.9	(3位)
4位	歴史・文化観光	36.2	44.6	(4位)
5位	テーマパーク	28.4	34.7	(7位)
6位	都市観光	26.7	31.4	(8位)
7位	海浜リゾート	25.9	35.5	(6位)
8位	ショッピング	25.0	26.4	(9位)
9位	町並み散策	22.4	38.0	(5位)
10位	世界遺産巡り	20.7	25.6	(10位)
	パワースポット	20.7	24.0	(12位)

女性60代

		2020年	2017年	
1位	自然観光	57.7	60.5	(1位)
2位	温泉旅行	52.3	49.6	(2位)
3位	歴史・文化観光	47.7	43.4	(3位)
4位	グルメ	43.0	43.4	(3位)
5位	町並み散策	29.5	26.4	(6位)
6位	世界遺産巡り	28.2	29.5	(5位)
7位	ロングステイ	25.5	20.9	(8位)
8位	観光列車旅行	24.8	調査なし	
9位	花の名所巡り	24.2	23.3	(7位)
10位	海浜リゾート	22.1	19.4	(13位)

女性70代

		2020年	2017年	
1位	自然観光	54.0	61.5	(2位)
2位	温泉旅行	49.2	62.4	(1位)
3位	グルメ	34.7	34.9	(4位)
4位	歴史・文化観光	33.1	43.1	(3位)
5位	町並み散策	29.8	27.5	(6位)
6位	観光列車旅行	27.4	調査なし	
7位	花の名所巡り	25.8	33.9	(5位)
8位	おしゃべり旅行	22.6	27.5	(6位)
9位	高原リゾート	16.9	24.8	(8位)
10位	和風旅館	16.1	20.2	(9位)
	世界遺産巡り	16.1	17.4	(12位)

資料：(公財)日本交通公社「JTB旅行意識調査」

(3) 旅行タイプ別の行ってみたい旅行先

ここでは、行ってみたいと回答した旅行タイプについて、それぞれの行ってみたい旅行先を国内・海外問わずに自由に回答してもらい、それらの回答を国内は都道府県別（または地方別）、海外は国別（または島別）に整理して集計した（表I-4-4、表I-4-5）。

自然観光では、「北海道」が最も多く、2位以下を大きく引き離す結果となっている。

歴史・文化観光では、「京都府」が約2割を占め1位となり、次いで「イタリア」が2位となっている。

海浜リゾートでは、「ハワイ」「沖縄県」の人气が高く、両者で約6割を占める。

高原リゾートでは、「長野県」が約4割を占め1位となっている。具体的な表記をみると、軽井沢や上高地など複数の地名がリゾートとして挙げられている。

都市観光では、「東京都」が最も多く、次いで「アメリカ合衆国本土」となっている。

温泉では、由布院や別府など著名な温泉地を有する「大分県」が最も多く、次いで草津を有する「群馬県」となっている。

祭・イベントでは、ねぶた祭で知られる「青森県」が最も多く、2位はさっぽろ雪まつりが有名な「北海道」となっている。

テーマパークでは、東京ディズニーリゾートが位置する「千葉県」が1位、ユニバーサル・スタジオ・ジャパンを有する「大阪府」が2位となっている。

動物園・水族館では、沖縄美ら海水族館を有する「沖縄県」が最も多く、次いで旭山動物園が位置する「北海道」となっている。パンダが有名なアドベンチャーワールドを有する和歌山県は、2017年の5位から順位を上げ3位となっている。

グルメでは、「北海道」が他を大きく引き離して1位となっている。順位の入替えはあるものの、上位5位の構成は、2017年調査と変化がない。

スキー・スノーボードでは、「北海道」が最も多く、2位は「長野県」、3位は「新潟県」が続く。

マリンスポーツでは、「沖縄県」が半数近くを占め、2位以下は「ハワイ」「グアム」をはじめとした海外の旅行先が上位を占めている。

登山・山歩きでは、富士山を有する「静岡県」「山梨県」が同率1位、日本アルプスを有する「長野県」が3位となっている。

海水浴では、「沖縄県」「ハワイ」の人气が高く、3位に「静岡県」が続いている。

ショッピングでは、「ハワイ」が最も多く、次いで「東京都」となっている。3位以降は、「韓国」「イタリア」などの海外の旅行先が占めている。

芸術鑑賞では、「フランス」が最も多く、次いで「東京都」「オーストリア」「アメリカ合衆国本土」「イタリア」と、2位以外は海外の旅行先が上位を占めている。

スポーツ観戦では、「アメリカ合衆国本土」が最も多く、次

いで「東京都」という結果となっている。

花の名所巡りでは、「北海道」が最も多く、2位以下に大きく差をつけている。

自然現象鑑賞は、オーロラ鑑賞で有名な「カナダ」「フィンランド」、流水で有名な「北海道」が1位となっている。

秘境ツアーでは、屋久島のある「鹿児島県」が最も多く、次いで「沖縄県」「ペルー」となっている。

町並み散策は、「京都府」が最も多く、「石川県」が2位となっている。2017年調査で3位の「イタリア」が順位を下げ、代わりに「フランス」が4位となっている。

リゾートホテルは、「沖縄県」「ハワイ」の人气が高く、3位以下と大きく差をつけている。

和風旅館では、「京都府」が最も多く、次いで「石川県」「神奈川県」となっている。

見るもの、遊ぶものにこだわらず、仲間や家族と楽しく過ごすおしゃべり旅行では、「静岡県」が多い。

世界遺産巡りについては、世界遺産の登録数が最も多い「イタリア」が1位となっている。旅行先の上位5位は全て海外が占めている。

ロングステイでは、「ハワイ」が最も多く、次いで「沖縄県」「アメリカ合衆国本土」となっている。

パワースポットでは、「ハワイ」が最も多く、屋久島を有する「鹿児島県」が続く。

ホテルステイでは、「ハワイ」が最も多く、次いで「沖縄県」「東京都」となっている。

アニメツーリズムでは、「東京都」が最も多く2位以下を引き離している。具体的には、秋葉原が多く挙げられている。

産業遺産観光では、世界遺産「富岡製糸場と絹産業遺産群」を有する「群馬県」、世界遺産「明治日本の産業革命遺産」の構成資産を有する「長崎県」が最も多い。

武将観光では、「山梨県」「岐阜県」が最も多く、次いで「京都府」となっている。

エコツアーでは、知床を有する「北海道」、グレートバリアリーフなど自然豊かな「オーストラリア」が最も多い。

ジオツーリズムでは、「アメリカ合衆国本土」が1位、次いで「静岡県」となっている。

観光列車旅行では、「九州地方」が最も多く2位以下を引き離している。

表I-4-4 旅行タイプ別行ってみたい旅行先（2020年）

ジオツーリズム			観光列車旅行		
2020年（回答数：35）			2020年（回答数：212）		
1位	アメリカ合衆国本土	14.3%	1位	九州地方	28.3%
2位	静岡県	8.6%	2位	北海道	7.5%
3位	三重県、フィンランド	5.7%	3位	東北地方	3.3%
5位	富山県、新潟県、 ハワイ、 アイスランド など	2.9%	4位	国内	2.4%
			5位	スイス	1.9%

表I-4-5 旅行タイプ別行ってみたい旅行先(2020年・2017年) — 次ページにつづく

自然観光

2020年(回答数:701)			2017年(回答数:683)		
1位	北海道	19.8%	1位	北海道	23.9%
2位	沖縄県	8.7%	2位	沖縄県	6.6%
3位	ハワイ	6.0%	3位	鹿児島県	5.6%
4位	オーストラリア	4.0%	4位	カナダ	4.2%
5位	鹿児島県	3.6%	5位	オーストラリア	3.4%

歴史、文化観光

2020年(回答数:547)			2017年(回答数:568)		
1位	京都府	21.8%	1位	京都府	29.0%
2位	イタリア	5.1%	2位	イタリア	6.7%
3位	広島県、フランス	2.9%	3位	奈良県	3.0%
4位	エジプト、アラブ首長国連邦、スペイン	2.6%	4位	広島県	2.8%
			5位	栃木県	2.5%

海浜リゾート

2020年(回答数:466)			2017年(回答数:426)		
1位	ハワイ	37.3%	1位	ハワイ	30.5%
2位	沖縄県	28.1%	2位	沖縄県	22.2%
3位	グアム	3.2%	3位	グアム	3.9%
4位	モルディブ	3.0%	4位	オーストラリア	1.2%
5位	和歌山県	2.1%	5位	セブ島、バリ島	1.1%

高原リゾート

2020年(回答数:202)			2017年(回答数:235)		
1位	長野県	38.1%	1位	長野県	44.7%
2位	北海道	6.9%	2位	栃木県	8.5%
3位	栃木県、静岡県、スイス	4.0%	3位	北海道	6.8%
			4位	スイス	4.3%
			5位	富山県	3.0%

都市観光

2020年(回答数:354)			2017年(回答数:338)		
1位	東京都	24.6%	1位	東京都	29.6%
2位	アメリカ合衆国本土	11.0%	2位	アメリカ合衆国本土	9.8%
3位	イタリア	7.1%	3位	フランス	5.9%
4位	大阪府	6.8%	4位	京都府	4.4%
5位	フランス	5.6%	5位	大阪府、イタリア	4.1%

温泉旅行

2020年(回答数:691)			2017年(回答数:694)		
1位	大分県	16.6%	1位	大分県	16.7%
2位	群馬県	12.0%	2位	群馬県	12.7%
3位	神奈川県	6.5%	3位	静岡県	6.2%
4位	静岡県	5.9%	4位	神奈川県	6.1%
5位	北海道	5.8%	5位	北海道	5.6%

祭、イベント

2020年(回答数:154)			2017年(回答数:153)		
1位	青森県	27.9%	1位	青森県	23.5%
2位	北海道	8.4%	2位	京都府	9.2%
3位	東北地方	5.2%	3位	秋田県	6.5%
4位	京都府、徳島県、秋田県	3.9%	4位	北海道	5.2%
			5位	東北地方	3.9%

テーマパーク

2020年(回答数:461)			2017年(回答数:463)		
1位	千葉県	36.9%	1位	千葉県	36.9%
2位	大阪府	25.8%	2位	大阪府	29.6%
3位	東京都	8.2%	3位	東京都	7.3%
4位	アメリカ合衆国本土	7.2%	4位	長崎県	6.9%
5位	長崎県	6.7%	5位	アメリカ	3.2%

動物園、水族館

2020年(回答数:226)			2017年(回答数:272)		
1位	沖縄県	22.6%	1位	沖縄県	27.6%
2位	北海道	16.8%	2位	北海道	23.5%
3位	和歌山県	9.3%	3位	東京都	5.1%
4位	東京都	6.6%	4位	愛知県	4.4%
5位	神奈川県	4.9%	5位	和歌山県	3.7%

グルメ

2020年(回答数:605)			2017年(回答数:539)		
1位	北海道	36.7%	1位	北海道	29.5%
2位	台湾	6.4%	2位	台湾	7.4%
3位	大阪府	4.6%	3位	大阪府	5.8%
4位	韓国	3.5%	4位	福岡県	3.9%
5位	福岡県	3.3%	5位	韓国	3.7%

スキー、スノーボード

2020年(回答数:126)			2017年(回答数:123)		
1位	北海道	41.3%	1位	北海道	38.2%
2位	長野県	25.4%	2位	長野県	22.0%
3位	新潟県	5.6%	3位	新潟県、カナダ	4.1%
4位	カナダ	3.2%	4位		
5位	山形県	2.4%	5位	信州地方、福島県	3.3%

マリンスポーツ

2020年(回答数:170)			2017年(回答数:144)		
1位	沖縄県	49.4%	1位	沖縄県	51.4%
2位	ハワイ	20.0%	2位	ハワイ	17.4%
3位	グアム	6.5%	3位	グアム	9.0%
4位	オーストラリア、静岡県	2.4%	4位	オーストラリア	3.5%
			5位	サイパン、セブ島、パラオ	1.4%

登山、山歩き

2020年(回答数:149)			2017年(回答数:137)		
1位	山梨県、静岡県	22.1%	1位	山梨県	27.0%
			2位	静岡県	25.5%
3位	長野県	19.5%	3位	長野県	21.9%
4位	スイス	8.1%	4位	富山県	10.2%
5位	鹿児島県	7.4%	5位	新潟県	8.8%

海水浴

2020年(回答数:169)			2017年(回答数:)		
1位	沖縄県	42.0%	1位	沖縄県	37.2%
2位	ハワイ	27.2%	2位	ハワイ	24.0%
3位	静岡県	5.9%	3位	静岡県	4.9%
4位	グアム	3.0%	4位	千葉県	3.8%
5位	オーストラリア、和歌山県	1.8%	5位	茨城県、神奈川県、グアム、モルディブ	2.2%

ショッピング

2020年(回答数:279)			2017年(回答数:257)		
1位	ハワイ	29.7%	1位	ハワイ	30.0%
2位	東京都	15.1%	2位	東京都	14.4%
3位	韓国	14.3%	3位	韓国	6.6%
4位	イタリア、アメリカ合衆国本土	4.3%	4位	アメリカ合衆国本土	4.7%
			5位	兵庫県、イタリア、台湾、香港	2.7%

芸術鑑賞

2020年(回答数:179)			2017年(回答数:193)		
1位	フランス	22.9%	1位	東京都	20.2%
2位	東京都	15.1%	2位	フランス	15.0%
3位	オーストラリア	7.8%	3位	イタリア	8.8%
4位	アメリカ合衆国本土、イタリア	6.1%	4位	アメリカ合衆国本土	8.3%
			5位	オーストラリア	7.3%

資料:(公財)日本交通公社「JTB旅行意識調査」

表I-4-5 旅行タイプ別行ってみたい旅行先(2020年・2017年) — つづき

スポーツ観戦

2020年(回答数:116)			2017年(回答数:121)		
1位	アメリカ合衆国本土	18.1%	1位	東京都	19.0%
2位	東京都	15.5%	2位	アメリカ合衆国本土	14.0%
3位	スペイン	7.8%	3位	スペイン	8.3%
4位	兵庫県、福岡県、イギリス	5.2%	4位	兵庫県	5.8%
			5位	イギリス	5.0%

花の名所めぐり

2020年(回答数:151)			2017年(回答数:178)		
1位	北海道	19.2%	1位	北海道	16.9%
2位	京都市	6.0%	2位	京都府	7.9%
3位	奈良県	5.3%	3位	青森県、長崎県、長野県	3.9%
4位	青森県	4.6%			
5位	長野県、オランダ	4.0%			

自然現象鑑賞

2020年(回答数:160)			2017年(回答数:174)		
1位	北海道、カナダ、フィンランド	9.4%	1位	カナダ	16.7%
			2位	アラスカ	9.8%
			3位	北海道	5.2%
4位	ノルウェー	4.4%	4位	アイスランド	4.6%
5位	鹿児島県、アメリカ合衆国本土、アラスカ	3.8%	5位	フィンランド	3.4%

秘境ツアー

2020年(回答数:125)			2017年(回答数:130)		
1位	鹿児島県	7.2%	1位	ペルー	11.5%
2位	沖縄県、ペルー	5.6%	2位	鹿児島県	6.2%
			3位	北海道	5.4%
4位	アメリカ合衆国本土	4.8%	4位	沖縄県	3.8%
5位	北海道、宮崎県	4.0%	5位	岐阜県、アメリカ合衆国本土、アメリカ、中国	2.3%

町並み散策

2020年(回答数:319)			2017年(回答数:311)		
1位	京都府	15.7%	1位	京都府	17.7%
2位	石川県	7.5%	2位	石川県	8.7%
3位	岡山県	4.7%	3位	イタリア	7.7%
4位	岐阜県、フランス	4.4%	4位	岡山県	7.4%
			5位	岐阜県	3.5%

リゾートホテル

2020年(回答数:235)			2017年(回答数:219)		
1位	沖縄県	20.9%	1位	ハワイ	20.5%
2位	ハワイ	19.1%	2位	沖縄県	20.1%
3位	北海道	6.0%	3位	バリ島	6.4%
4位	パリ	4.7%	4位	北海道	3.7%
5位	長野県	2.6%	5位	長野県	3.7%

和風旅館

2020年(回答数:248)			2017年(回答数:239)		
1位	京都府	19.0%	1位	京都府	22.2%
2位	石川県	10.1%	2位	石川県	10.0%
3位	神奈川県	8.5%	3位	神奈川県	6.7%
4位	静岡県	5.6%	4位	大分県	4.2%
5位	山形県	3.2%	5位	静岡県	3.8%

おしゃべり旅行

2020年(回答数:198)			2017年(回答数:172)		
1位	静岡県	7.1%	1位	京都府、静岡県	4.7%
2位	沖縄県	6.6%			
3位	北海道	5.6%	3位	北海道	4.1%
4位	東京都	5.1%	4位	神奈川県	4.1%
5位	神奈川県、京都府	4.5%	5位	沖縄県	3.5%

世界遺産巡り

2020年(回答数:250)			2017年(回答数:268)		
1位	イタリア	12.4%	1位	イタリア	9.7%
2位	エジプト、アラブ首長国連邦	6.8%	2位	ペルー	7.8%
3位	ペルー	6.4%	3位	エジプト、カンボジア	5.2%
4位	フランス	4.8%			
5位	スペイン	4.4%	5位	スペイン、フランス	4.9%

ロングステイ

2020年(回答数:301)			2017年(回答数:261)		
1位	ハワイ	20.3%	1位	ハワイ	24.9%
2位	沖縄県	10.3%	2位	オーストラリア	7.3%
3位	アメリカ合衆国本土	6.3%	3位	アメリカ合衆国本土	6.9%
4位	オーストラリア	4.7%	4位	沖縄県	6.9%
5位	カナダ	3.7%	5位	北海道	5.4%

パワースポット

2020年(回答数:169)			2017年(回答数:221)		
1位	ハワイ	9.5%	1位	鹿児島県	9.5%
2位	鹿児島県	6.5%	2位	三重県	7.7%
3位	京都府、島根県	5.9%	3位	宮崎県	5.9%
5位	三重県、アメリカ合衆国本土	5.3%	4位	京都府、島根県、ハワイ	5.4%
			5位		

ホテルステイ

2020年(回答数:144)			2017年(回答数:126)		
1位	ハワイ	9.0%	1位	ハワイ	9.5%
2位	沖縄県	8.3%	2位	東京都	6.3%
3位	東京都	5.6%	3位	北海道	5.6%
4位	長野県	4.9%	4位	沖縄県、バリ島	4.0%
5位	神奈川県、静岡県、京都府、アメリカ合衆国本土	2.8%			

アニメツーリズム

2020年(回答数:47)			2017年(回答数:48)		
1位	東京都	25.5%	1位	東京都	33.3%
2位	京都府	8.5%	2位	鳥取県	8.3%
3位	東京都、熊本県、アメリカ合衆国本土	4.3%	3位	大阪府	6.3%
			4位	愛知県、神奈川県	4.2%

産業遺産観光

2020年(回答数:42)			2017年(回答数:37)		
1位	群馬県、長崎県	7.1%	1位	群馬県	27.0%
			2位	長崎県	24.3%
			3位	島根県	10.8%
3位	島根県、愛媛県、イギリス	4.8%	4位	愛媛県、鳥取県、東京都、栃木県、北陸地方、イタリア	2.7%

武将観光

2020年(回答数:87)			2017年(回答数:96)		
1位	山梨県、岐阜県	9.2%	1位	長野県	12.5%
3位	京都府	8.0%	2位	京都府、宮城県	10.4%
4位	宮城県	5.7%	4位	愛知県	6.3%
5位	長野県	4.6%	5位	兵庫県	5.2%

エコツアー

2020年(回答数:70)			2017年(回答数:72)		
1位	北海道、オーストラリア	10.0%	1位	北海道	8.3%
3位	鹿児島県	7.1%	2位	沖縄県、鹿児島県	6.9%
4位	沖縄県	4.3%	4位	東京都	5.6%
5位	福島県、ハワイ、ニュージーランド	2.9%	5位	オーストラリア	4.2%

2 旅行の動機

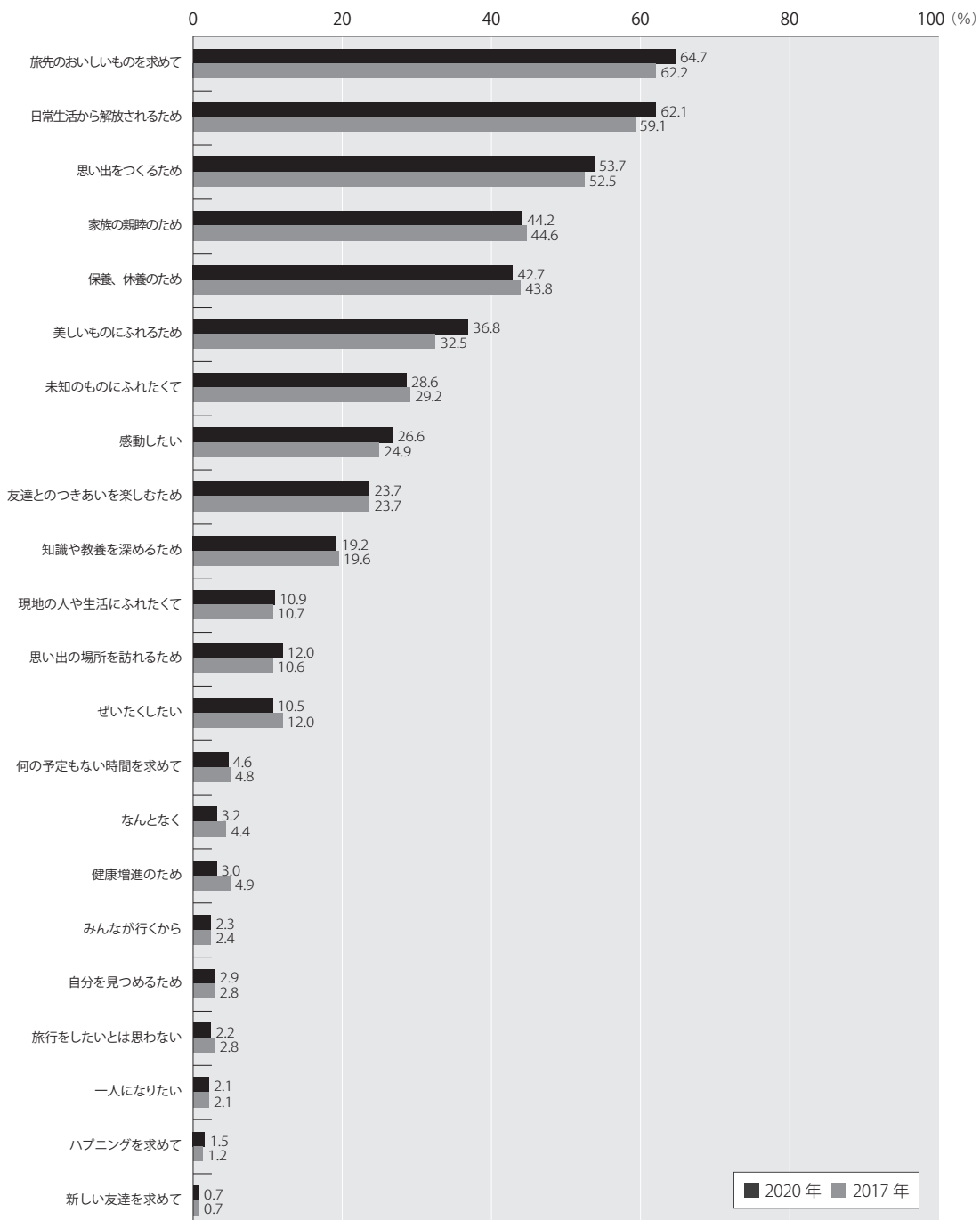
旅行の動機は、「おいしいもの」「日常生活からの解放」

「国内宿泊旅行、海外宿泊旅行をしてみたいと思う動機」として当てはまるものを、あらかじめ用意した選択肢から選んでもらった結果、旅行動機（複数回答）については、「旅先のおいしいものを求めて」が64.7%と最も多く、続いて「日常生活から解放されるため」62.1%、「思い出をつくるため」53.7%、「家族の親睦のため」が44.2%となった（図I-4-2）。

2017年調査と比較すると、「日常生活から解放されるため」「美しいものにふれるため」などが増加した一方で、「ぜいたくしたい」「健康増進のため」などが減少した。

先に述べた上位3つの動機について、性・年代別に詳しくみると、「旅先のおいしいものを求めて」「日常生活から解放されるため」については、ほとんどの年代において上位3位に入っている（表I-4-6）。30代、40代、50代では男女ともに「家族の親睦のため」が比較的多いが、子育てが一段落する60代以上の男性で依然として「家族の親睦のため」が多い一方で、女性では少なくなり、男女間の旅行動機に差が生じている。

図I-4-2 旅行の動機（複数回答）



資料：(公財)日本交通公社「JTBF旅行意識調査」

表I-4-6 性・年代別 旅行の動機(複数回答)(単位:%)

男性20代

	2020年	2017年	
1位	思い出をつくるため	62.6	60.3 (2位)
2位	日常生活から解放されるため	58.2	66.7 (1位)
3位	旅先のおいしいものを求めて	56.0	56.4 (3位)
4位	友達とのつきあいを楽しむため	49.5	28.2 (6位)
5位	未知のものにふれたくて	35.2	34.6 (5位)
6位	美しいものにふれるため	33.0	23.1 (7位)
7位	保養、休養のため	29.7	41.0 (4位)
8位	感動したい	25.3	16.7 (10位)
9位	知識や教養を深めるため	15.4	17.9 (9位)
10位	家族の親睦のため	13.2	16.7 (10位)
	なんとなく	13.2	2.6 (17位)

男性30代

	2020年	2017年	
1位	思い出をつくるため	69.0	63.5 (3位)
2位	日常生活から解放されるため	65.5	68.7 (1位)
3位	旅先のおいしいものを求めて	57.5	65.2 (2位)
4位	家族の親睦のため	53.1	51.3 (4位)
5位	保養、休養のため	46.0	40.9 (5位)
6位	未知のものにふれたくて	28.3	22.6 (7位)
7位	美しいものにふれるため	27.4	24.3 (6位)
8位	知識や教養を深めるため	21.2	18.3 (8位)
9位	ぜいたくしたい	19.5	16.5 (10位)
10位	感動したい	17.7	17.4 (9位)

男性40代

	2020年	2017年	
1位	日常生活から解放されるため	63.3	54.4 (4位)
2位	旅先のおいしいものを求めて	61.3	55.2 (3位)
3位	家族の親睦のため	56.0	60.0 (1位)
4位	思い出をつくるため	50.7	58.4 (2位)
	保養、休養のため	50.7	49.6 (5位)
6位	未知のものにふれたくて	30.0	24.8 (6位)
7位	美しいものにふれるため	24.7	19.2 (8位)
8位	知識や教養を深めるため	18.7	13.6 (9位)
	感動したい	18.7	23.2 (7位)
10位	友達とのつきあいを楽しむため	12.7	11.2 (10位)

男性50代

	2020年	2017年	
1位	日常生活から解放されるため	63.3	57.5 (1位)
2位	旅先のおいしいものを求めて	60.8	54.2 (3位)
3位	家族の親睦のため	54.2	46.7 (4位)
4位	保養、休養のため	43.3	55.8 (2位)
5位	思い出をつくるため	41.7	41.7 (5位)
6位	美しいものにふれるため	28.3	25.8 (6位)
7位	未知のものにふれたくて	26.7	24.2 (7位)
8位	感動したい	23.3	21.7 (8位)
9位	知識や教養を深めるため	19.2	16.7 (9位)
10位	友達とのつきあいを楽しむため	14.2	13.3 (10位)

男性60代

	2020年	2017年	
1位	旅先のおいしいものを求めて	71.5	56.5 (1位)
2位	思い出をつくるため	51.1	35.7 (4位)
3位	日常生活から解放されるため	50.4	54.8 (2位)
4位	家族の親睦のため	43.8	44.3 (3位)
5位	保養、休養のため	40.1	35.7 (4位)
6位	美しいものにふれるため	37.2	34.8 (6位)
7位	感動したい	27.0	23.5 (9位)
8位	未知のものにふれたくて	26.3	33.0 (7位)
9位	友達とのつきあいを楽しむため	20.4	16.5 (10位)
10位	知識や教養を深めるため	19.7	24.3 (8位)

男性70代

	2020年	2017年	
1位	旅先のおいしいものを求めて	64.0	42.0 (2位)
2位	家族の親睦のため	45.0	47.0 (1位)
3位	日常生活から解放されるため	40.0	29.0 (6位)
4位	思い出をつくるため	34.0	39.0 (4位)
5位	保養、休養のため	32.0	40.0 (3位)
6位	美しいものにふれるため	31.0	26.0 (8位)
7位	未知のものにふれたくて	27.0	34.0 (5位)
8位	知識や教養を深めるため	26.0	22.0 (9位)
9位	感動したい	24.0	14.0 (10位)
10位	友達とのつきあいを楽しむため	18.0	29.0 (6位)
	思い出の場所を訪れるため	18.0	10.0 (13位)

女性20代

	2020年	2017年	
1位	旅先のおいしいものを求めて	80.8	71.1 (2位)
2位	思い出をつくるため	78.2	74.4 (1位)
3位	日常生活から解放されるため	71.8	65.6 (3位)
4位	美しいものにふれるため	55.1	41.1 (4位)
5位	保養、休養のため	43.6	41.1 (4位)
6位	友達とのつきあいを楽しむため	37.2	36.7 (7位)
7位	未知のものにふれたくて	30.8	32.2 (8位)
	家族の親睦のため	30.8	41.1 (4位)
	感動したい	30.8	30.0 (9位)
10位	ぜいたくしたい	23.1	26.7 (10位)

女性30代

	2020年	2017年	
1位	旅先のおいしいものを求めて	77.5	77.9 (1位)
2位	日常生活から解放されるため	75.7	70.5 (3位)
3位	思い出をつくるため	71.2	71.6 (2位)
4位	家族の親睦のため	53.2	54.7 (4位)
	保養、休養のため	53.2	45.3 (5位)
6位	美しいものにふれるため	39.6	29.5 (6位)
7位	未知のものにふれたくて	34.2	25.3 (7位)
	感動したい	28.8	24.2 (8位)
9位	ぜいたくしたい	23.4	20.0 (9位)
10位	思い出の場所を訪れるため	18.0	12.6 (11位)

女性40代

	2020年	2017年	
1位	日常生活から解放されるため	74.8	63.4 (2位)
2位	思い出をつくるため	59.8	65.0 (1位)
	旅先のおいしいものを求めて	59.8	62.6 (3位)
4位	家族の親睦のため	56.7	60.2 (4位)
5位	保養、休養のため	45.7	44.7 (5位)
6位	美しいものにふれるため	33.9	30.9 (7位)
7位	感動したい	26.8	31.7 (6位)
8位	未知のものにふれたくて	23.6	23.6 (8位)
9位	知識や教養を深めるため	14.2	20.3 (9位)
10位	友達とのつきあいを楽しむため	13.4	13.0 (10位)

女性50代

	2020年	2017年	
1位	日常生活から解放されるため	69.0	70.2 (2位)
2位	旅先のおいしいものを求めて	68.1	77.7 (1位)
3位	家族の親睦のため	47.4	42.1 (6位)
4位	保養、休養のため	44.8	55.4 (3位)
5位	思い出をつくるため	42.2	51.2 (4位)
6位	美しいものにふれるため	39.7	44.6 (5位)
7位	感動したい	32.8	33.9 (7位)
8位	未知のものにふれたくて	23.3	33.9 (7位)
9位	友達とのつきあいを楽しむため	21.6	24.0 (9位)
10位	知識や教養を深めるため	15.5	21.5 (10位)

女性60代

	2020年	2017年	
1位	旅先のおいしいものを求めて	70.5	69.8 (1位)
2位	日常生活から解放されるため	67.1	63.6 (2位)
3位	美しいものにふれるため	53.7	43.4 (3位)
4位	思い出をつくるため	51.7	38.0 (5位)
5位	保養、休養のため	49.7	41.1 (4位)
6位	家族の親睦のため	38.3	33.3 (7位)
7位	感動したい	35.6	33.3 (7位)
8位	未知のものにふれたくて	34.2	31.8 (9位)
9位	友達とのつきあいを楽しむため	26.8	38.0 (5位)
10位	知識や教養を深めるため	24.2	22.5 (10位)

女性70代

	2020年	2017年	
1位	旅先のおいしいものを求めて	56.5	62.4 (1位)
2位	日常生活から解放されるため	55.6	49.5 (2位)
3位	友達とのつきあいを楽しむため	48.4	47.7 (3位)
4位	美しいものにふれるため	46.0	46.8 (4位)
5位	思い出をつくるため	35.5	38.5 (5位)
6位	保養、休養のため	33.9	34.9 (7位)
7位	家族の親睦のため	30.6	35.8 (6位)
	感動したい	30.6	26.6 (9位)
9位	未知のものにふれたくて	27.4	30.3 (8位)
10位	知識や教養を深めるため	20.2	20.2 (10位)

資料：(公財)日本交通公社「JTB旅行意識調査」

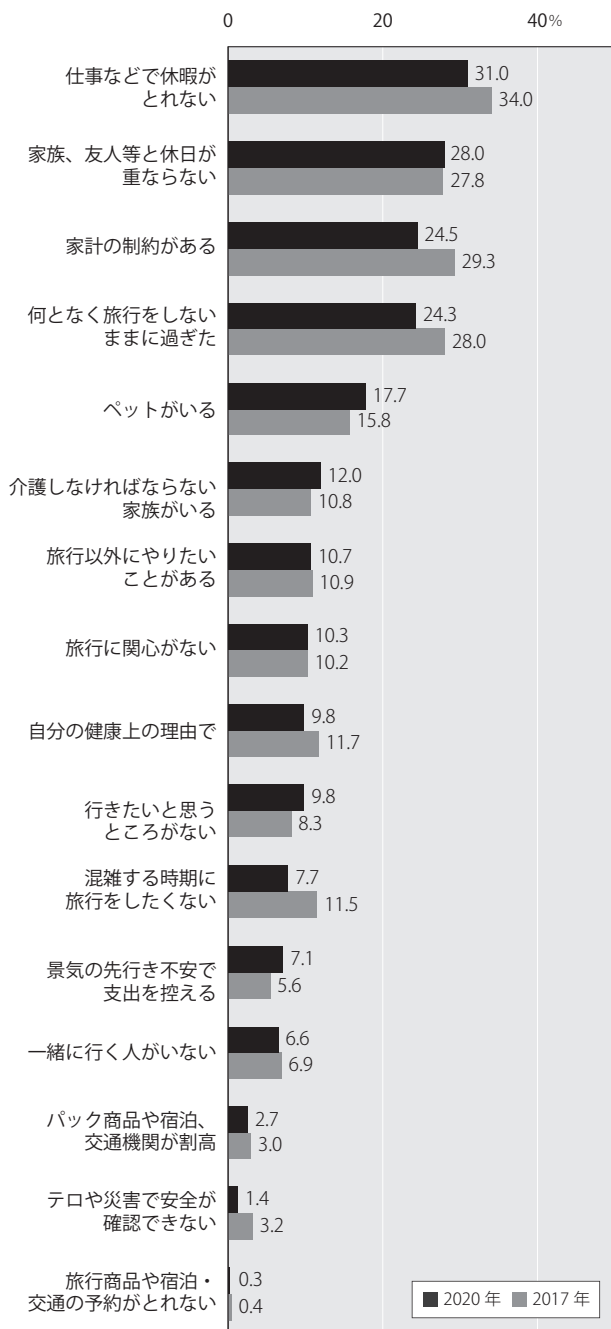
3 旅行の阻害要因

阻害要因は「休暇がとれない」「家族、友人等と休日が重ならない」

「2019年1月～12月中に国内または海外旅行に行かなかった人」に「行かなかった」理由として当てはまるものを、あらかじめ用意した選択肢から全て選んでもらった。

その結果、旅行の阻害要因（複数回答）は、全体では「仕事などで休暇がとれない」が31.0%と最も多く、これに「家族、友人等と休日が重ならない」（28.0%）、「家計の制約がある」（24.5%）が続き、『休暇』と『支出』に関する理由が多く選

図I-4-3 旅行の阻害要因（複数回答）



資料：(公財)日本交通公社「JTBF旅行意識調査」

ばれた(図I-4-3)。

また、「何となく旅行をしないままに過ぎた」という、旅行に対する消極性をうかがわせる回答も多く、旅行をしなかった人の2割以上がこれを選択している。

その他の阻害要因としては、「ペットがいる」「介護しなければならない家族がいる」といったような、自宅から離れられない事情を抱えることを理由とする回答も多い。

また、ライフステージ別に旅行の阻害要因をみると、男性はライフステージにかかわらず、「仕事などで休暇がとれない」が上位にあがっている(表I-4-7)。

表I-4-7 ライフステージ別・旅行の阻害要因（単位：%）

男女・未婚

2020年		2017年	
1位	仕事などで休暇がとれない 33.9	1位	仕事などで休暇がとれない 40.0
2位	家族、友人等と休日が重ならない 24.6	2位	家計の制約がある/何となく旅行をしないままに過ぎた 24.0
3位	旅行に関心がない 22.0	3位	家族、友人等と休日が重ならない 22.0

男女・子供なし

2020年		2017年	
1位	仕事などで休暇がとれない 44.0	1位	仕事などで休暇がとれない 47.8
2位	家族、友人等と休日が重ならない 28.0	2位	何となく旅行をしないままに過ぎた 39.1
3位	ペットがいる 24.0	3位	ペットがいる/家計の制約がある 34.8

男性子育て中

2020年		2017年	
1位	仕事などで休暇がとれない 40.3	1位	仕事などで休暇がとれない 44.2
2位	家族、友人等と休日が重ならない 36.5	2位	家族、友人等と休日が重ならない 37.2
3位	家計の制約がある 30.8	3位	家計の制約がある 33.3

男性子育て後

2020年		2017年	
1位	仕事などで休暇がとれない 31.1	1位	何となく旅行をしないままに過ぎた 32.9
2位	何となく旅行をしないままに過ぎた 29.7	2位	仕事などで休暇がとれない 30.0
3位	ペットがいる/自分の健康上の理由で 24.3	3位	家計の制約がある 25.7

女性子育て中

2020年		2017年	
1位	家族、友人等と休日が重ならない 31.6	1位	家計の制約がある 37.0
2位	家計の制約がある 29.7	2位	家族、友人等と休日が重ならない 35.1
3位	仕事などで休暇がとれない 24.1	3位	仕事などで休暇がとれない/何となく旅行をしないままに過ぎた 27.9

女性子育て後

2020年		2017年	
1位	何となく旅行をしないままに過ぎた 36.8	1位	自分の健康上の理由で/何となく旅行をしないままに過ぎた 33.3
2位	介護しなければならない家族がいる 28.4	2位	ペットがいる 26.3
3位	ペットがいる 26.3	3位	家族、友人等と休日が重ならない 22.8

資料：(公財)日本交通公社「JTBF旅行意識調査」

4 新型コロナウイルス感染症流行が日本人の旅行意識に与えた影響

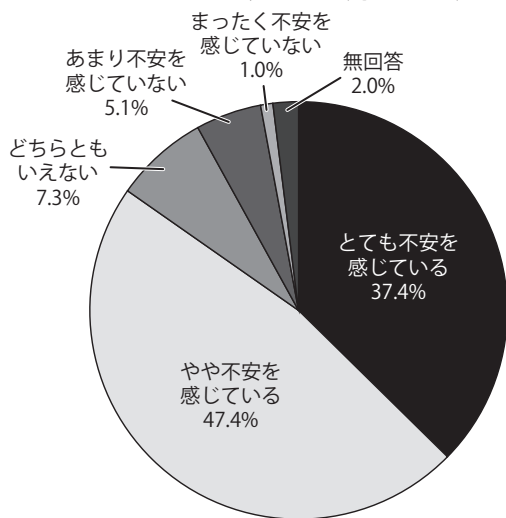
新型コロナウイルス感染症(COVID-19/以下新型コロナ)の流行が日本人の旅行に対する意識に及ぼした影響を把握するため、「JTBF旅行意識調査」に新型コロナに関する設問を加え、分析を行った。

(1) 新型コロナによる日常生活への影響

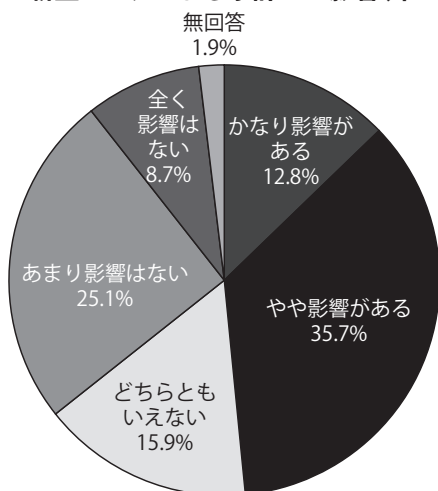
旅行の前提となる日常生活に対して新型コロナがどのような影響を与えたかを把握するため、不安の度合いとその内容、家計への影響を尋ねた。

まず、新型コロナに対する不安度は、「とても不安を感じている」が37.4%、「やや不安を感じている」が47.4%と、8割以上の人が不安を感じていた(図I-4-4)。

図I-4-4 新型コロナに対する不安(単一回答)



図I-4-6 新型コロナによる家計への影響(単一回答)

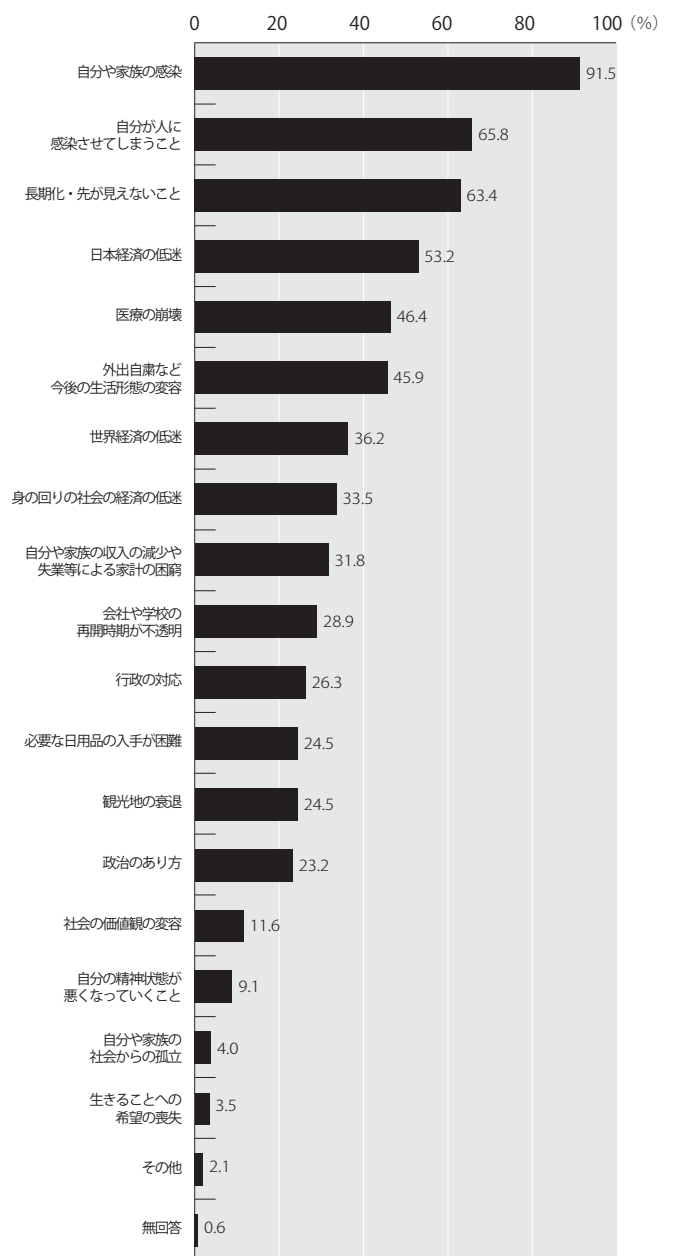


注) 構成比は小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計が必ずしも100%とはならない。

不安の具体的な内容としては、「自分や家族の感染」が91.5%、「自分が人に感染させてしまうこと」が65.8%と、ウイルス感染に関する不安が多かった。次いで、「長期化・先が見えないこと」63.4%、「日本経済の低迷」53.2%、「医療の崩壊」46.4%となった(図I-4-5)。一方、「社会の価値観の変容」「自分の精神状態が悪くなっていくこと」「自分や家族の社会からの孤立」「生きることへの希望の喪失」など精神的な要素が関係する項目の割合は低かった。

新型コロナによる家計への影響は、「かなり影響がある」12.8%、「やや影響がある」35.7%と、5割弱の人が影響を感じていた(図I-4-6)。

図I-4-5 新型コロナに対する不安の内容(複数回答)



資料: (公財) 日本交通公社「JTBF旅行意識調査」

(2) 新型コロナ収束後の旅行に対する意識

①旅行意向(国内旅行・海外旅行)

新型コロナ収束後、国内旅行は約7割が「行きたい」と回答した一方で、海外旅行は約4割が「当面は行きたくない」と回答した(図I-4-7)。このことから、国内旅行は前向きに実施を検討する人が多いのに対し、海外旅行の実施は慎重になる人が多いことが示された。

②国内旅行実施のための条件

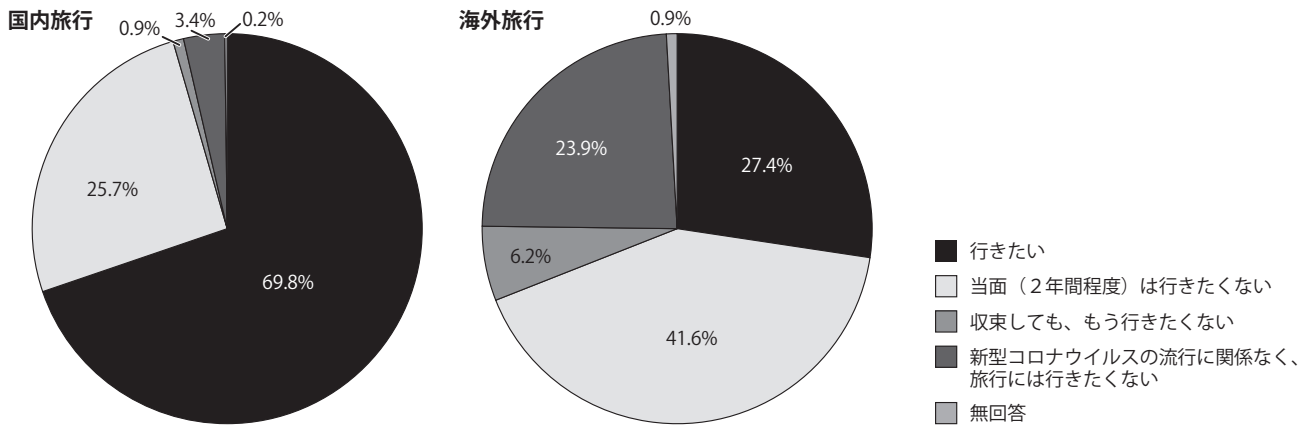
実際に何が満たされれば旅行を実施しようと思うか、その条件を尋ねた。その結果、「政府・行政が外出自粛要請を解除した」が73.7%、「緊急事態宣言が解除された」が70.9%と、公的に発出される要請や宣言が旅行再開の目安とされて

いた。次いで「治療薬やワクチンが確立された」「医療の逼迫がおさまった」という医療に関する項目が挙げられた(図I-4-8)。

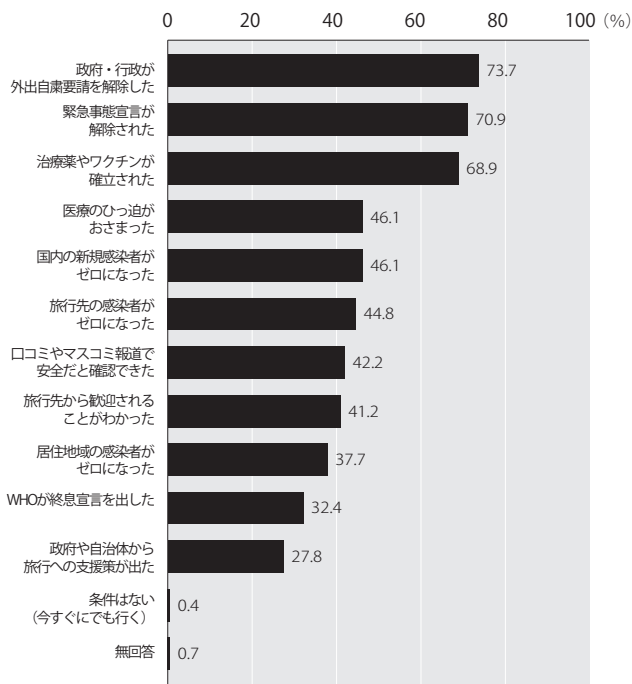
③旅行の動機

新型コロナ収束後、旅行に行きたいと思うのはどのような気持ちからか、その動機を尋ねたところ、「日常生活から解放されるため」「旅先のおいしいものを求めて」「思い出をつくるため」「家族の親睦のため」「保養、休養のため」が上位に挙げられた(図I-4-9)。これら上位の旅行動機は、新型コロナ収束後という条件に関わらず、大きな変動はなかった(「図I-4-2」7頁参照)。

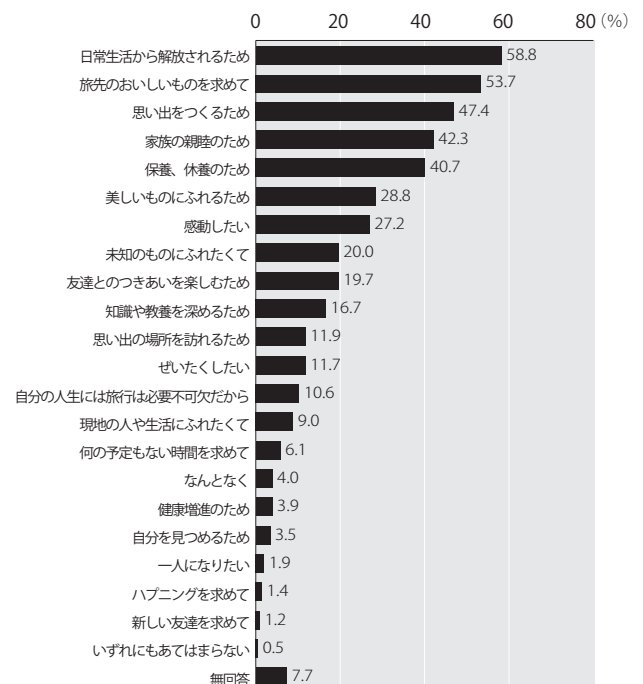
図I-4-7 新型コロナ収束後の旅行意向(単一回答)



図I-4-8 新型コロナ収束後の国内旅行実施のための条件複数回答



図I-4-9 新型コロナ収束後の旅行動機(複数回答)



資料：(公財)日本交通公社「JTBF旅行意識調査」

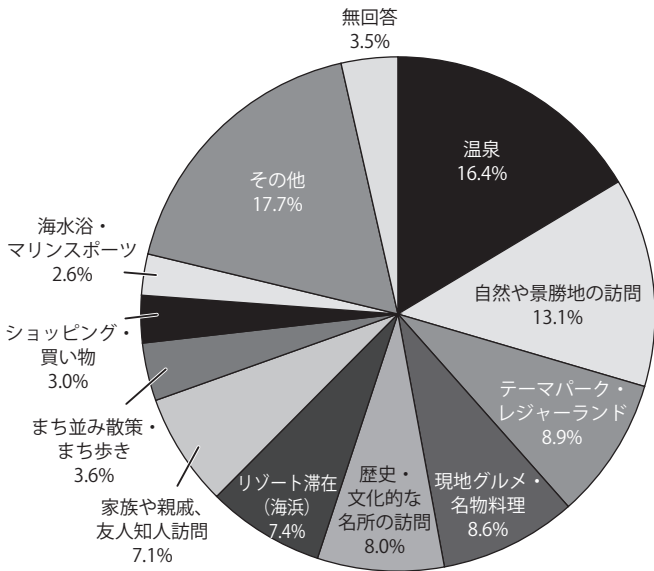
④行いたい活動

新型コロナ収束後に行いたい活動としては、「温泉」16.4%、「自然や景勝地の訪問」13.1%の人气が高かった（図I-4-10）。新型コロナ収束後という条件に関わらず、上位に挙がる活動は同様であった（図I-4-11）。

⑤行きたい／あまり行きたくない地域

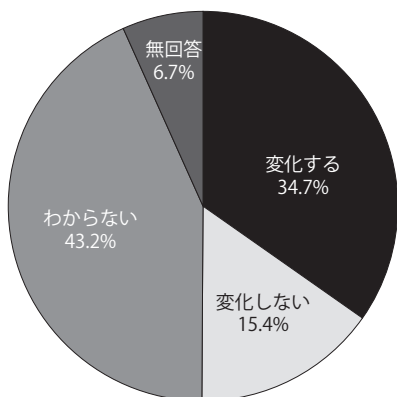
新型コロナ収束後に行きたい地域は「これまでに旅行したことのない地域」、あまり行きたくない地域は「公衆衛生が徹底されていない地域」がそれぞれ第1位となった（図I-4-11、図I-4-12）。

図I-4-10 新型コロナ収束後に行いたい活動(単一回答)



その他には、「都市観光・都会見物」「観光施設・動物園・水族館」「世界遺産訪問」「芸術鑑賞」「スポーツ観戦」「ドライブ」「祭り・イベント」「リゾート滞在(高原)」「美術館・博物館」「アウトドア体験」「登山・トレッキング」「ゴルフ」「スキー・スノーボード」「サイクリング」「季節の花見」「果物狩り・農林漁業体験」「野生動物観察」「産業観光」「生活文化体験」「写真・写生」が含まれる。

図I-4-13 新型コロナ収束後の旅行行動の変化(単一回答)



⑥旅行先の選択、旅行先での行動に関する変化

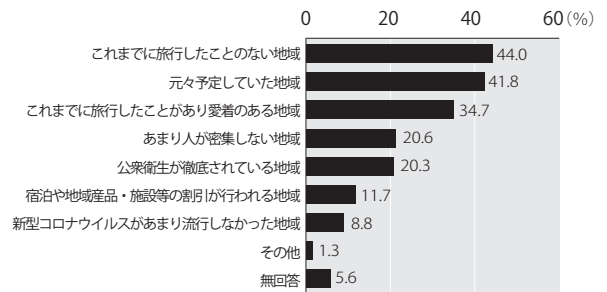
新型コロナ収束後、旅行先の選択や旅行先での行動に変化があるかを尋ねると、「変化する」が34.7%、「変化しない」が15.4%であった（図I-4-13）。また、「わからない」が43.2%と、半数近くは変化の有無を想定していないことが明らかとなった。

⑦観光地への支援

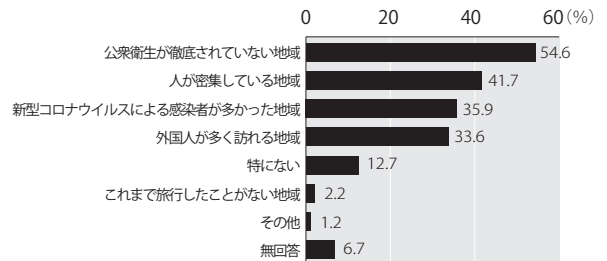
コロナ禍により打撃を受けた観光地に対する支援意向は、「支援したいと思う」が62.2%と、半数以上が支援意向を示した（図I-4-14）。

(安原有紗)

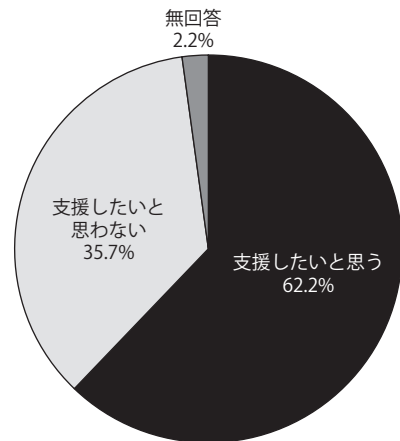
図I-4-11 新型コロナ収束後に行きたい地域(複数回答)



図I-4-12 新型コロナ収束後にあまり行きたくない地域(複数回答)



図I-4-14 観光地への支援意向(単一回答)



資料：(公財)日本交通公社「JTBF旅行意識調査」